

寺ヶ池ハザードマップ

令和元年の5月に河内長野市役所から「寺ヶ池ため池ハザードマップ」が公表されました。詳しくは市役所ホームページの「農林課」↓「寺ヶ池ハザードマップについて」を参照願います。

大阪府では、平成23年に発生した東日本大震災でのため池の決壊による甚大な被害を教訓とし、平成24年度より、堤体が決壊時に下流への影響が大きいため池に対して、左の12箇所のため池等について、一定の耐震性能を有していると評価されています。



寺ヶ池に関しては平成24年度に「ため池耐震性診断」を行い以下の様な診断結果が出ています。大規模地震発生後たまたちに貯水機能が損なわれ

るような堤体の大きな変形や、破壊に至るようなひび割れの進展、圧縮応力、せん断応力は発生しないことが確認されました。

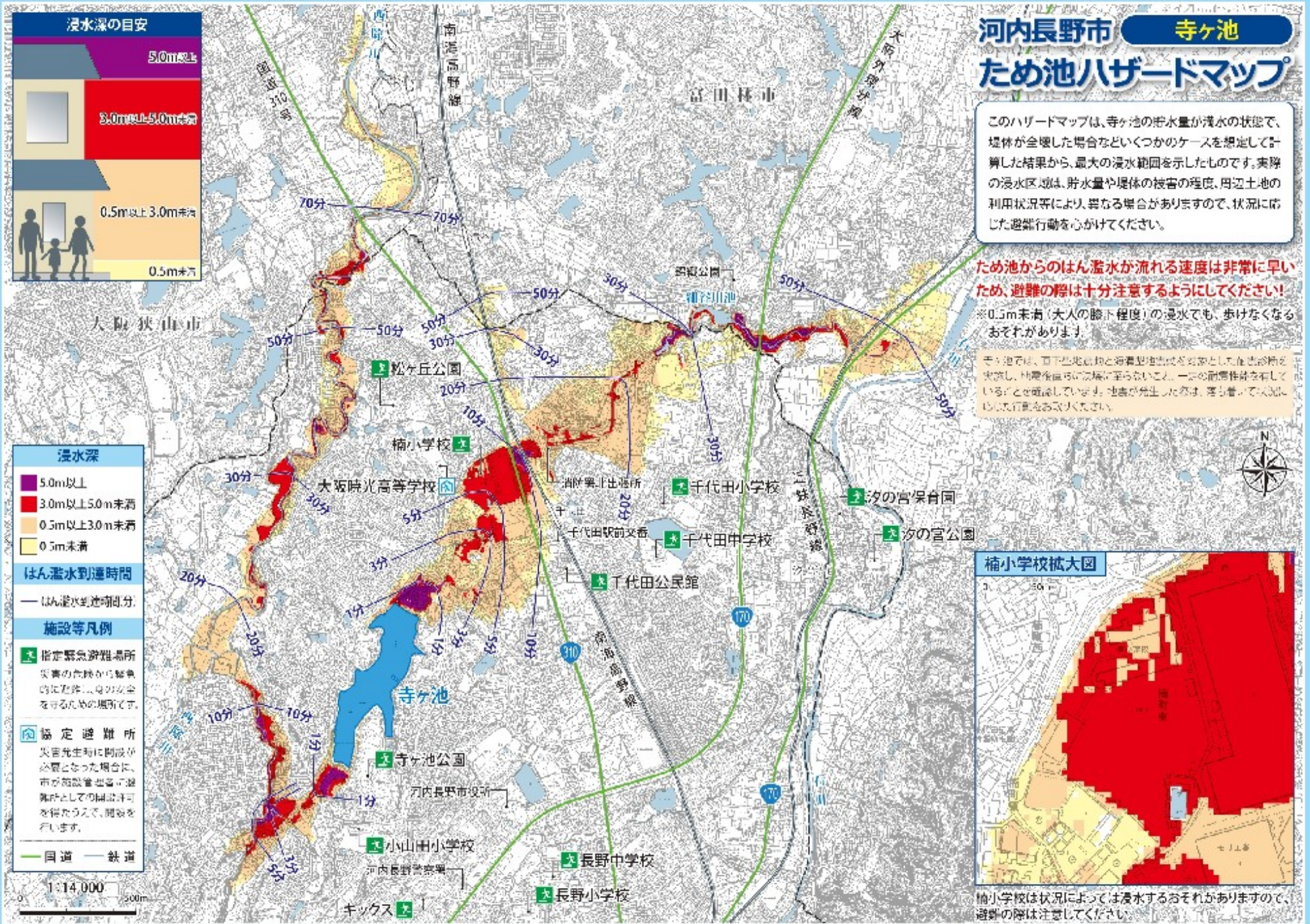
河内長野市 寺ヶ池 ため池ハザードマップ

このハザードマップは、寺ヶ池の貯水量が浅水の状態、堤体が全壊した場合などいくつかのケースを想定して計算した結果から、最大の浸水範囲を示したものです。実際の浸水範囲は、貯水量や堤体の被害の程度、周辺土地の利用状況等により、異なる場合がありますので、状況に応じた避難行動を心がけてください。

ため池からのはん濫水が流れる速度は非常に早い
ため、避難の際は十分注意するようにしてください！

※0.5m未満（大人の膝下程度）の浸水でも、歩けなくなるおそれがあります。

寺ヶ池では、右下の土地は河内長野市と和歌山県との境界線に接しているため、地震発生時に境界線付近に被害が生じ、河内長野市に被害が及ぶおそれがあります。



楠小学校は状況によっては浸水するおそれがありますので、避難の際は注意してください。

留意点

「つながる会」では「寺ヶ池ハザードマップ」の提示を受け、以下の様な質問を「農林課」、「危機管理課」に投げかけました。

以下は質問と回答のやりとりの中で、特に避難所に関する内容から抜粋しました。

- ・楠小学校は避難所として適しているか
- ・災害の種類や規模に応じて避難場所を選んでいきます。通常の風台風や震度5までの地震であれば引き続き避難所として指定していきます。

- ・楠小学校に避難できない場合には
- ・自主避難のための避難所を2ヶ所開設します。避難者数が多くなれば近接の小学校に避難所を開設します。さらに大規模災害発生時には協定避難所の開設も検討します。西除川を渡るのが危険な場合には大阪狭山市の小学校も利用できるように協議済みです。

- ・避難の際の留意点
- ・災害の種類や規模に応じて、どのような被害が想定されるかを考えて避難行動をとってください。そのために、普段

からお住いの場所の特性や危険について知っていただくとともに、発災時には市からの災害情報を確認してください。

こういった質問と回答のやりとりについての詳細は「つながる会」ホームページの「6月14日運営委員会」のページを参照願います。

最後に、市役所からの連絡です。このハザードマップは多数用意してありますので必要な方には市役所4階農林課にて配布しています。また市のホームページにも掲載されています。

編集後記

まちづくり新聞の第二十二号をお届けします

メール kusunoki.info@gmail.com

<https://ksrd.jp/kusunoki/>

つながる会

検索